定理 2.12 群 < G , \* >の演算表に対して ,任意の行または任意の列はG の置換である。

## 【証明】

群 < G , \* > の演算表の任意の行a に対して,G の任意の要素b が行a に存在する。その理由は, $a^{-1}$  \* b  $\in$  G かつ a \*  $(a^{-1}$  \* b)  $\in$  G である。すなわち,b がa 行  $(a^{-1}$  \* b) 列の要素である。もし行a に,b が列x と列y で出現するならば,a \* x = a \* y = b となり,定理 2.11 により,x = y 。よって,演算表の任意の行a には,G の任意の要素b が一回だけ出現する。ゆえに,群 < G ,\* > の演算表に対して,任意の行はG の置換である。同様な理由で,群 < G ,\* > の演算表に対して,任意の列はG の置換である。